

図書館だより

目次

特集テーマ:「映画・ドラマが何倍も楽しくなる本」	
考えるための教員推薦図書	1 ~ 3
インフォメーション	4

「映画・ドラマが何倍も楽しくなる本」

考えるための教員推薦図書

“映画やドラマを見るときにこういう知識があると何倍も楽しく見られる”という本を「映画・ドラマが何倍も楽しくなる本」をテーマに先生方に興味深い本をご紹介いただきました。本学図書館で借りることができますので、先生方のお話に興味を惹かれるものがありましたら、是非、手に取って読んでみてください。

国際学部 国際学科 山下 琢巳 教授 推薦

『白痴』1・2・3巻

ドストエフスキー 著 河出書房新社



請求記号：983/Dos/1
資料 ID：901123256



請求記号：983/Dos/2
資料 ID：901123255



請求記号：983/Dos/3
資料 ID：901123254

Идиот (イディオット)

ロシアのウクライナへの侵攻が始まってはや6ヶ月が経過しましたが、いまだ収束のめどは立っていません。侵攻以来、日々、プーチンのことが報道されています。しかし、ロシアの歴史と文化については、あまり論じられていないようです。

そこで、この際、ロシアの小説を読み、その映画を鑑賞してロシアの一端を知ってみるというのはいかがでしょうか。

『白痴』は、ロシアの文豪ドストエフスキーによって、雑誌『ロシア報知』1868年1月号-12月号に連載されました。1868年という日本では明治元年にあたります。『白痴』は、『罪と罰』に続く長編で、『悪霊』、『未成年』、『カラマーゾフの兄弟』と共にドストエフスキー後期五大長編作品で、その代表作とも言われています。

『白痴』の主要登場人物は、男性が、主人公で豊かな遺産で暮らすムイシュキン公爵と莫大な遺産を相続したロゴージンで、女性は、絶世の美女ナスターシャと事業家の娘アグラヤです。ムイシュキン公爵は、ナスターシャとアグラヤから思いを寄せられていて、ロゴージンはナスターシャに思いを寄せています。この現在ロシアのОлигарх (オリガルヒ) を思わせる4人を中心に物語りは展開しますが、その他大勢の登場人物がいて物語の大半は実のところストーリー展開というよりはこれらいろいろな階層にわたる登場人物のお喋りに終始します。お喋りにこそ文化はありといったところでしょうか。

悲劇のヒロインであるナスターシャのフルネームはナスターシャ・フィリップヴナ・バラシコーワ。他の人物も時に、その名前がフルネームや父称になったりして、ロシア人でないともまず人物把握が大変です。それに大半を占めるお喋りも日本語訳だと微妙なニュアンスが失われていて登場人物の個性を感じ取るのを困難なものにしています。しかし、ここは我慢して最後まで読み通すと意外な結末が待っています。

『白痴』は多数映画化されていますが、DVD化されていて簡単に見ることができるのは、1946年のジョルジュ・ランパン監督によるフランス映画と、1951年の黒澤明監督による日本映画です。前者では、フランスのジェームズ・ディーンと呼ばれたジェラルド・フィリップがムイシュキン公爵を演じています。また、後者は、ドストエフスキーを敬愛していた黒澤が舞台をロシア帝国の首都であったサンクトペテルブルクから北海道に置き換えて映画化したもので、小津映画で世界的に有名な原節子がナスターシャを演じています。

ともに古い映画ですが、これをきっかけに、原典を読んで見てみることをお勧めします。

応用心理学部 臨床心理学科 田中 速 教授 推薦

『ストレスや苦手とつきあうための認知療法・認知行動療法
：吃音とのつきあいを通して』
大野 裕・伊藤伸二 著 金子書房



請求記号：146.8/0on
資料 ID：1068626

・2010年イギリス映画「英国王のスピーチ」監督；トム・フーパー，主演；コリン・ファース
話し始めに苦手な音があるとなかなか声を出せなかったり、同じ音を繰り返してしまうなど、言葉を滑らかに喋ることができない病気を吃音症といいます。幼児期に発症することが多く、一部の人は成人後も症状が持続します。先代のイギリス国王ジョージ6世は吃音症でした。幼少期から内気だった彼はもともと王となるつもりではありませんでしたが、兄が不倫問題で退位したために急遽国王に就任します。時は第2次大戦が間近な1936年。国王となれば国民に演説をしなくてはなりません。高名な医師の診察を受けても彼の吃音症はなかなか改善しなかったのですが、最初は疑わしく思えたオーストラリア人カウンセラー（正式な資格を持ってはいなかったようです）の治療によって次第に改善し、ドイツとの戦争に際しイギリス国民に団結をよびかけるラジオ生演説を成功させるシーンで映画は幕を閉じます。

・大野裕・伊藤伸二「ストレスや苦手とつきあうための認知療法・認知行動療法：吃音とのつきあいを通して」金子書房、2010。

さて吃音症の人はわざとたどたどしく喋っているわけではありません。逆に「上手に喋らなくてはいけない」と強く思いこんでいます。しかしこの思い込みがかえって緊張をたかめてしまい、滑らかに喋ることを妨げてしまいます。このように逆効果となってしまう思い込みを修正する心理療法を認知行動療法といいます。この本では吃音症の当事者グループで行われた認知行動療法のワークショップが紹介されています。

認知行動療法は比較的新しい心理療法であり、ジョージ6世の時代にはまだ存在していませんでした。映画では幼少期の父子関係に焦点をあてた精神分析的なカウンセリングが行われていましたが、一方で自分に自信を持つことを促す働きかけもなされており、これは現代の認知行動療法とも共通しています（映画の流れではこちらの方がラストシーンでの演説の成功の要因となっているように見えます）。心理療法の技法や理論には一種の「流行」がありますが、治療関係において重要なものはそれほど変わりはないのではないか、と思わされます。

経営学部 経営学科 樋口 徹 教授 推薦

『コンテナ物語：世界を変えたのは「箱」の発明だった』
マルク・レビンソン 著 日経BP



請求記号：681.6/Lev
資料 ID：901123240

私は港湾が舞台となる映画を観る時、コンテナ普及以前の荒くれ連中が闊歩する活気あふれる港湾か、コンテナが普及した後の近代的な港湾かに注目しています。アクション映画やドラマにおいて、悪党の逃走や盗品を持ち出すのを阻止するために、船舶上や港湾でのアクションシーンが数多く繰り広げられていますが、コンテナ普及前後でその内容が大きく異なります。

コンテナが本格的に海上輸送で使われるようになったのは1956年頃からでした。コンテナを船舶に積み下ろしをするには巨大なガントリークレーンが必要となります。数十年の試行錯誤を経て、全世界の数多くの港湾でコンテナが取り扱われるようになりました（2013年頃には日本に定期航路で輸入される貨物の99%がコンテナに搬入されて運ばれています）。コンテナの普及によって、大量の貨物が低コストかつ安全・迅速に運ばれるようになり、我々は物質的に豊かな生活を送れるようになりました。

コンテナ普及以前は、船舶到着後、たくさんの日雇い労働者によって貨物の積み下ろしが行われていました。船舶の航行・着岸や貨物の積み下ろしは天候に左右されます。日雇いの仕事はその仕事の有無に加え、事故と隣り合わせという大変な仕事です。そこで、かれらの労働条件を改善するという名目で船会社や港湾管理者との交渉に乗り出したグループ（反社組織含む）が港湾労働者を仕切るということが世界のいたる所で発生しました。1954年にアカデミー賞8冠を獲得した『波止場』は港湾で働く日雇い労働者の話です。その後の数々の映画でも荷物や人でごった返す舢舨（はしけ）や棧橋での戦闘シーンや嵐の中で貨物がバラバラに落下するシーンなどが撮られています。

コンテナ普及後は、コンテナへの積み下ろし作業は内陸の工場や倉庫で行われるようになり、港湾から賑わいが消え、巨大なガントリークレーンと無数のコンテナが蔵置される無機質な場所になりました。『リーサル・ウェポン2』（1989年）や『ダイ・ハード3』（1995年）などには高所でのアクションやコンテナの圧倒的な重量（最大30t）による緊迫したシーンがあります。それ以外にも、『トランスポーター』（2002年）では人身売買の被害者達がコンテナに押し込められていました。『キャプテン・フィリップス』（2013年）は海賊と対峙するコンテナ船の船長の話ですが、『パイレーツ・オブ・カリビアン』シリーズとはかなり戦闘シーンが異なっています。港湾を舞台とする映画の枚挙にいとまはありませんが、コンテナ普及前後で人間模様やアクションシーンが大きく変わるということは覚えておいてください。

経営学部 経営学科 石川 雅俊 准教授 推薦

『もしも徳川家康が総理大臣になったら』

真邊 明人 著 サンマーク出版



請求記号：913.6/Man
資料ID：901123244

現在、「鎌倉殿の13人」が好評放送中であるが、次年度の大河ドラマは「どうする家康」が放送される予定である。まだあらすじの詳細は明らかにされていないものの、NHKのHPによれば、「自らの弱さに歯がゆさを感じつつも、敗戦をバネにして、家康は個性派揃いの家臣たちとの絆を深め、一体感溢れるチーム徳川をつくりあげていく。」とあることから、家康が大敗し、人生最大のピンチに陥った三方ヶ原の戦いとその見どころの1つとなろう。秀吉が天下人となったのちに、ある茶会において、家康に自身の茶器を自慢した後、「あなたはどのような宝をもっているか。」と質問したところ、家康は「私の宝は自分のために命を懸けてくれる家臣である。」と返答したとされるエピソードが有名である。これは家康と「家臣たちとの絆」を示す1つのエピソードであるが、実際、三方ヶ原の戦いでは譜代家臣である夏目吉信等が、家康を守るため、その身代わりとなって戦死している。とはいえ、決して家康は譜代家臣のみを重用したわけではない。「チーム徳川をつくりあげ」るために、かつては敵対していた戦国大名の家臣であっても、有能な人材については積極的に登用したのである。そのことが、のちに260年続く徳川幕府の礎になったといえる。

さて、今回紹介する『もしも徳川家康が総理大臣になったら』は、AIとホログラム技術によってコロナ禍の現代に復活した家康が、(コロナウイルスに感染して死亡した前総理大臣に代わって)新たな総理大臣として、時代を超えて復活した偉人たちとともにその対策にあたり、「地に堕ちた政府の信頼を取り戻す」というフィクションである。著者は、「家康が秀吉や信長に比して優れていたのは、政治を『安定』させる『組織構築』能力である。」とし(94頁)、やはり、人材を信頼しその能力を活かすマネジメント能力こそが家康最大の武器であるとする。本書において、徳川内閣は感染対策の1つとして、たとえば、全国民に対する「50万円の給付金」の支給を決め、「ロックダウン」を実行するが、それを早期に実現できた理由として、著者は、閣僚および家康自身が抜擢した官僚の有能さを挙げているのである。本書はこのような家康の「組織構築」術が随所に記載されており、来年の「どうする家康」の放送開始前に、改めて家康の人物像を理解する上で役立つものと考えられる。

Information

■ 特集展示『独学・独習に役立つ学びのための本』

独学・独習に役立つ本を、「学びの入門」「学ぶ技術」「考える技術」「調べる技術」「読む技術」「書く技術」の6つの視点から集めて展示しています。関心をもってご覧にいらしていただくと幸いです。



期 間： 2022年7月15日（金）～ 2022年8月27日（土）
場 所： 2号館2階 図書館 展示コーナー

夏季休業中の図書館利用について

■ 図書長期貸出について

夏季休業中は、以下のとおり特別長期貸出を実施いたします。

実施期間： 2022年7月22日（金）～2022年9月10日（土）
返却期限： 2022年9月24日（土）

■ 開館スケジュール *変更される場合があります。HPや掲示板をご確認ください。

9:00～20:00							9:00～14:00							休 館						
7 月							8 月							9 月						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
25	26	27	28	29	30	31	29	30	31					26	27	28	29	30		

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、状況に応じて開館スケジュールや利用方法は随時変更されております。

来館に際しては、感染防止対策として以下の点にご注意願います。

- *咳、発熱、倦怠感などの風邪のような症状のある方は来館をお控えください。
- *マスクを着用し、入口設置の消毒用アルコールでの手指消毒をお願いします。
- *館内では会話をご遠慮いただき、他の利用者と距離を確保するようにしてください。

